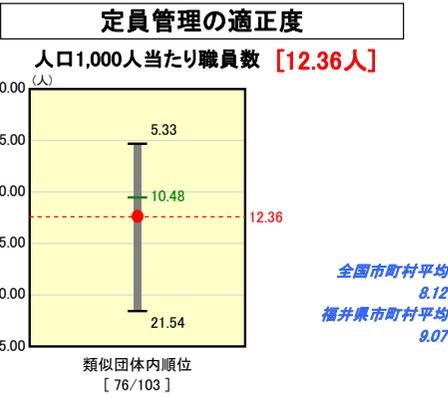
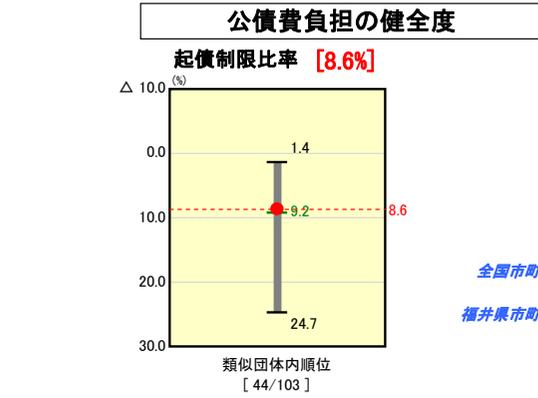
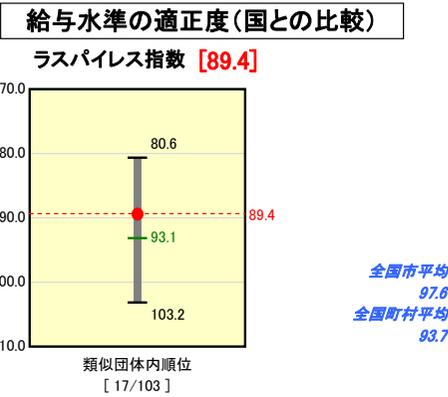
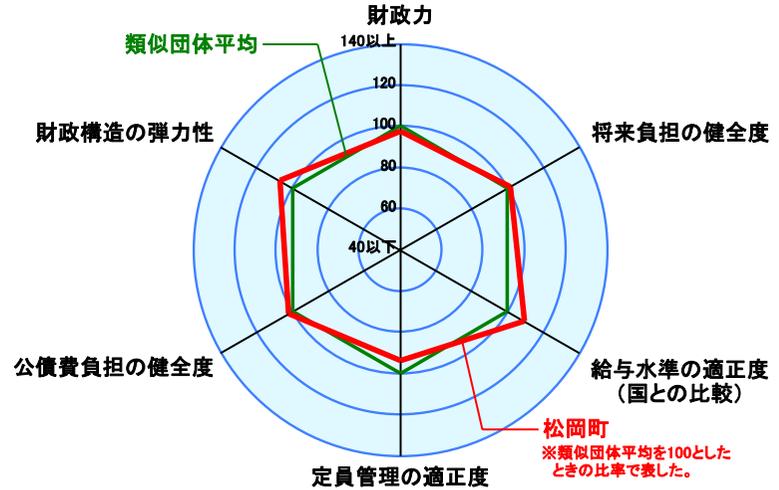
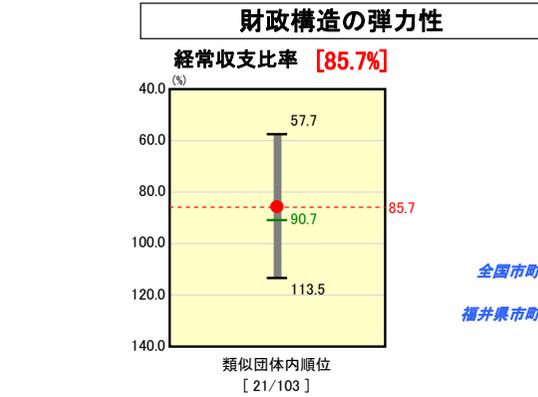
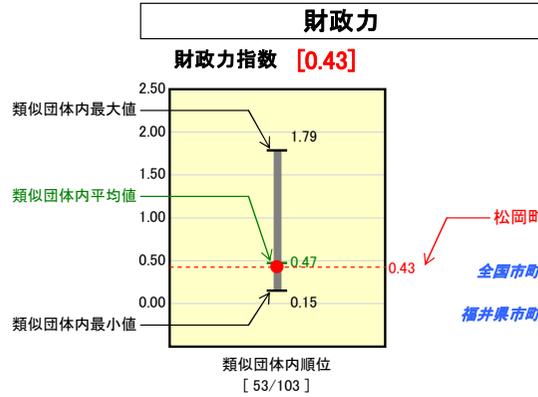


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福井県 松岡町

人口	10,354 人(H17.3.31現在)
面積	18.59 km ²
歳入総額	4,148,410 千円
歳出総額	4,021,595 千円
実質収支	122,361 千円



分析欄

※平成18年2月13日に、旧永平寺町、旧上志比村と合併し、永平寺町となった。

●**財政力指数**
3年間で連続した伸びを見せているが、類似団体平均は若干下回っている。今後は、新永平寺町として歳出削減(5年間で10%減)、定員管理・給与の適正化(10年間で25%減)等の取組みを通じて、財政基盤の強化を図る。

●**経常収支比率**
類似団体平均よりは下回っているものの、前年度より2ポイント悪化している。主な原因としては、保育園運営費の一般財源化および公債費における元金償還費の増があげられるが、その他人件費、扶助費の占める割合も多い。今後も新永平寺町としてさらなる財政改革に取組み、義務的経費の削減に努め、適正な水準に近づける。

●**起債制限比率**
平成16年度決算においては類似団体平均を0.6ポイント下回っているが、ここ3年間にわたるも年々上昇傾向にある。これは公債費充当一般財源が増えており、特に公営住宅建設事業債の償還が開始されたことが要因である。また起債償還額が平成18年度にかけてピークを迎えるため、今後は起債制限比率が上昇していくと見込まれる。今後も新永平寺町として緊急度・住みやすさを的確に把握した事業選択により、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

●**人口1人当たり地方債現在高**
現在のところ類似団体平均を若干下回っているが、今後新永平寺町として、合併特例債の新規発行額を10年間で40億円程度予定しており、このことから他事業における地方債の発行の抑制等により、類似団体平均を上回らないよう努める。

●**ラスパイレス指数**
現在は類似団体平均よりも大きく下回っている。今後も、新永平寺町として策定する集中改革プランに基づき、適正な給与水準の維持に努める。

●**人口1,000人当たり職員数**
幼保一元化・土地改良事業など、積極的な施策の展開に人員が必要であったため、類似団体平均を上回っているが、今後策定する集中改革プランの定員適正化計画により、新永平寺町として定員の適正化を図っていく。